

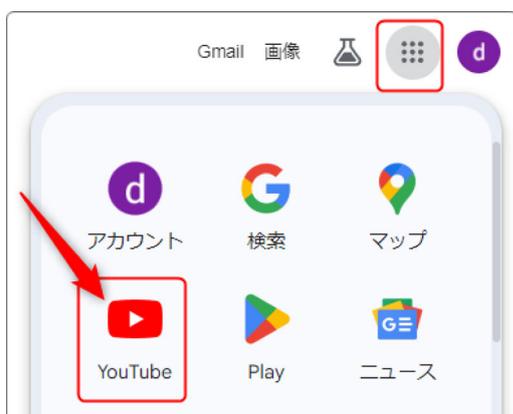
YouTubeの埋め込みコード取得方法

2024/06/03
2025/04/17 改

YouTubeにアカウントを作ってください、チャンネルを開設します。

【チャンネルの開設方法】

※YouTubeの画面は変わっていることがあります。



※並び順はそれぞれ異なります。

1. Gmail や <https://www.google.co.jp/> などを開き、画面右上のアカウント画像のとなりの Google アプリ一覧から YouTube を押下して開きます。



2. YouTubeが開いたら
 - ① 画面右上のアカウント画像の横にある「+ 作成」を押下します。
 - ② 「動画をアップロード」を押下



3. チャンネルをはじめて作成する場合は、プロフィールなど必要事項を入れて（デフォルトのままでも可）「チャンネルを作成」を押下



上記表示が出た場合は、しばらく経ってから再度 YouTube を開いてください。



4. チャンネルができるとアイコンの色が変わる場合があります。

再度「+ 作成」ボタンを押下すると「動画をアップロードを表示」が出ますので、動画をアップロードする場合は、これを押下します。

以上で YouTube に動画をアップする準備ができました。
次は実際に動画をアップする手順になります。

※すでにチャンネルを作成済みの場合は、この次の項目から

【動画のアップロード方法】



1. 画面右上の「+ 作成」から「動画をアップロード」を押下してPCから動画をアップロードします。

2. 動画がアップロードされると変換が始まり、同時にYouTube側のチェックも開始されます。

※ファイルサイズが大きい場合は、変換に時間がかかります。
時間に余裕をもって作業してください。



3. チェックが終了したら「次へ」を押下します。

Test 非公開として保存済み ! ×

詳細 動画の要素 **チェック** 公開設定

詳細 詳細を再利用

タイトル (必須) ?
Test

説明 ?
視聴者に向けて動画の内容を紹介 (@ を使用して、チャンネルをメンションできます)

サムネイル
動画の内容がわかる画像を選択するかアップロードします。視聴者の目を引くサムネイルにしましょう。 詳細

サムネイルをアップロード

再生リスト
再生リストに動画を追加して、視聴者のためにコンテンツを整理しましょう。 詳細

選択

↑ HD ✓ HD までの動画を処理しています ... 残り 38 分

次へ

4. チェックが始まりますが、特に必要なければそのまま「次へ」を押下します。

著作権など YouTube 側がチェックをし、問題なければ「次へ」に進みます。YouTube 側の作業の様子は画面左下に都度表示されます。

公開設定

動画の公開日時と、視聴できるユーザーを選択します。

保存または公開
動画は公開、限定公開、非公開のいずれかにします。

非公開
自分と自分が選択したユーザーのみが動画を視聴できます

限定公開
動画のリンクを知っているユーザーが動画を視聴できます

公開
全員が動画を視聴できます

インスタントプレミア公開として設定する ?

公開設定は「**限定公開**」にして「保存」を押下します。

※これでサイト内で URL を知っている人のみが視聴できるようになります。

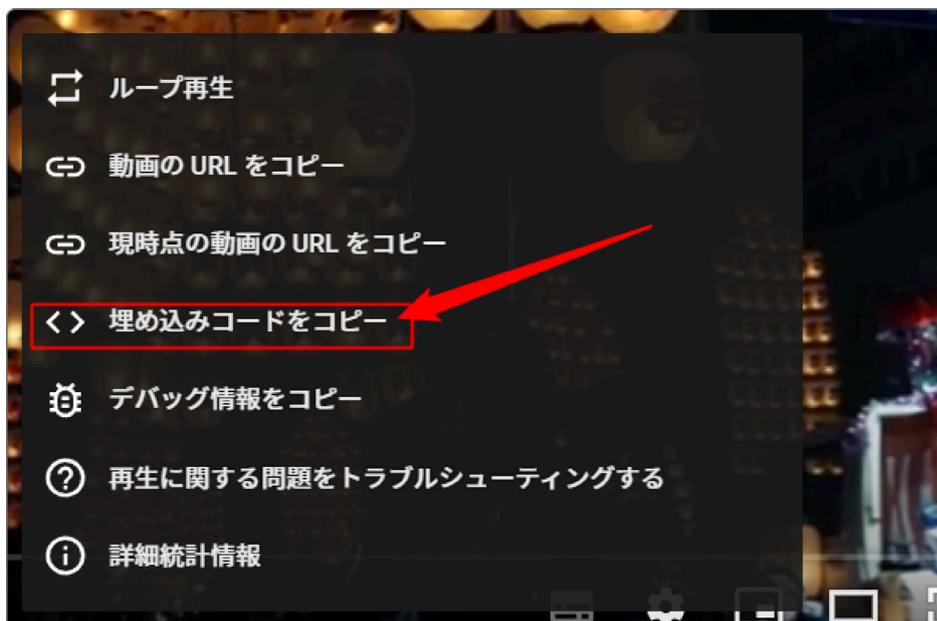
(サイトに埋め込む場合は、この公開設定にします。)

【動画をサイトに埋め込むには】

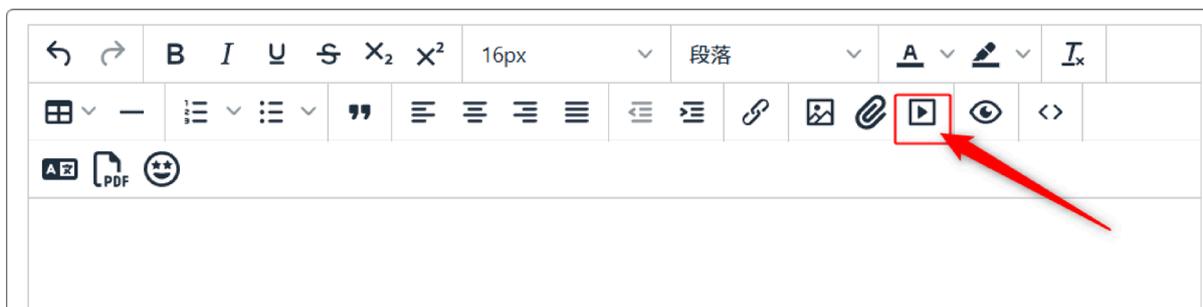
上記画面の赤枠部分が作成した動画の URL になります。この URL をコピーして、別のタブで動画を開きます。



1. 動画の任意の箇所で右クリックして出てきた中から、「<> 埋め込みコードをコピー」をクリックします。これでコードのコピーを取得することができました。



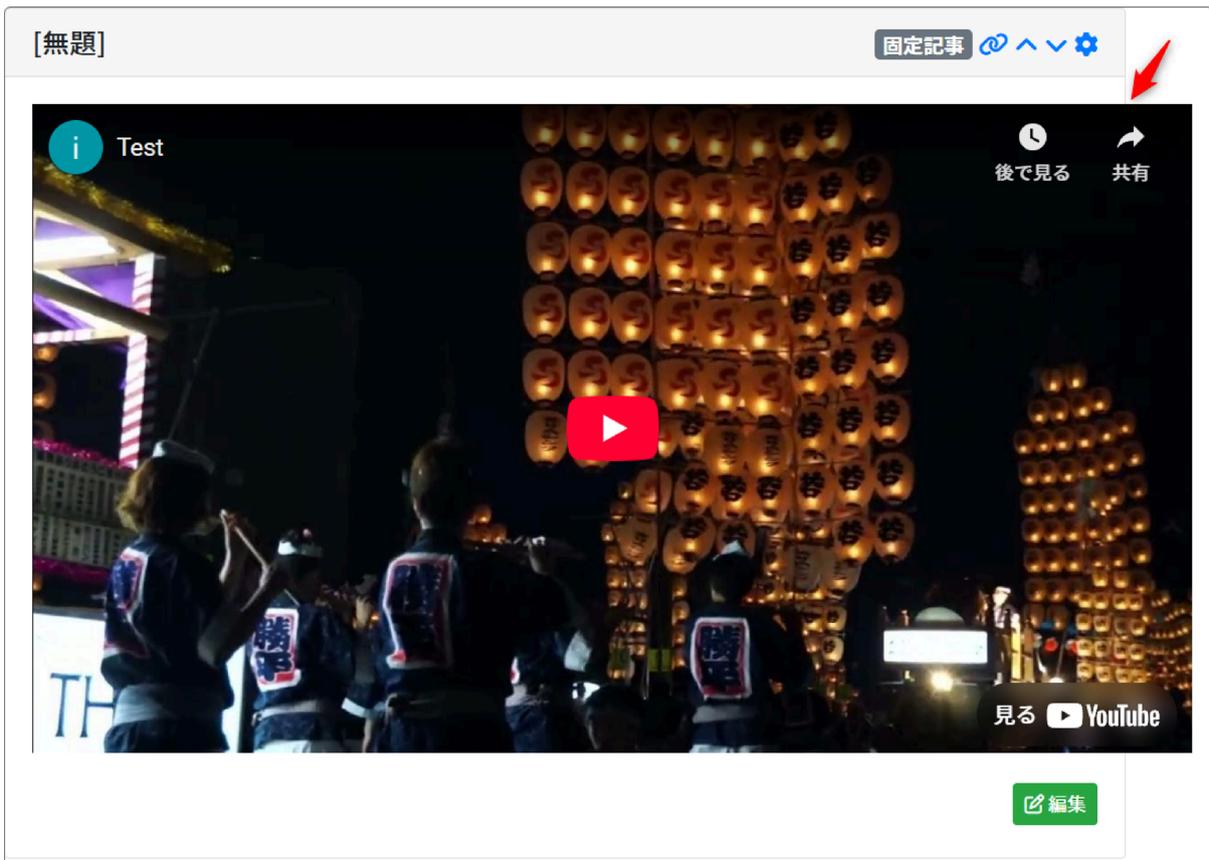
2. サイトに戻って、上記タグを「メディアの挿入・編集」アイコンから貼り付ければ、サイトにYouTubeの動画を埋め込むことができます。



① 「埋め込み」のタブを押下します。

② 先ほど動画からコピーしてきた埋め込みコードを貼り付けます。

③ 「保存」を押下します。



動画の埋め込みができましたが、動画が枠からはみ出しています。
また、レスポンシブになっていないのでこのままスマホで見たときには横スクロールしないと全部を見ることができません。

【YouTubeをレスポンシブにするには】

通常でしたら、上記タグをすべてコピーしてサイトに埋め込めばいいのですが、このままだと動画サイズが固定されています。
そのため、PC・タブレット・スマホでそれぞれ見たときにすべて同じ大きさに固定されてしまいます。

1. HTMLで動画を貼り付けたあと「段落」設定で変更する

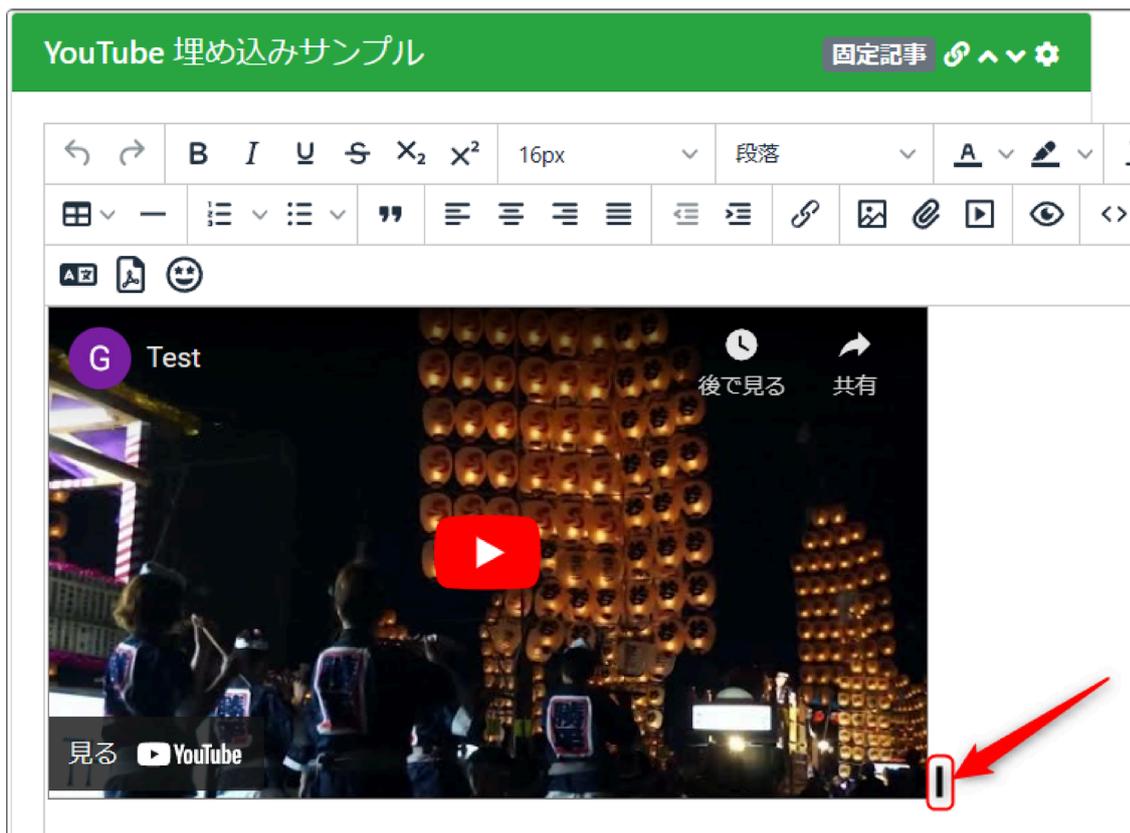
それぞれの媒体で大きさを自動的に制御できるようにする（レスポンシブにする）ためには、以下の方法になります。

動画を埋め込むまでは【動画をサイトに埋め込むには】と同じ作業です。サイトに埋め込んだら、再度編集モードにします。

※その時、画面が小さくて編集がやりにくい場合は、編集画面の  この部分をマウスで掴んで斜め右下に引っ張って離すと編集画面が広がります。

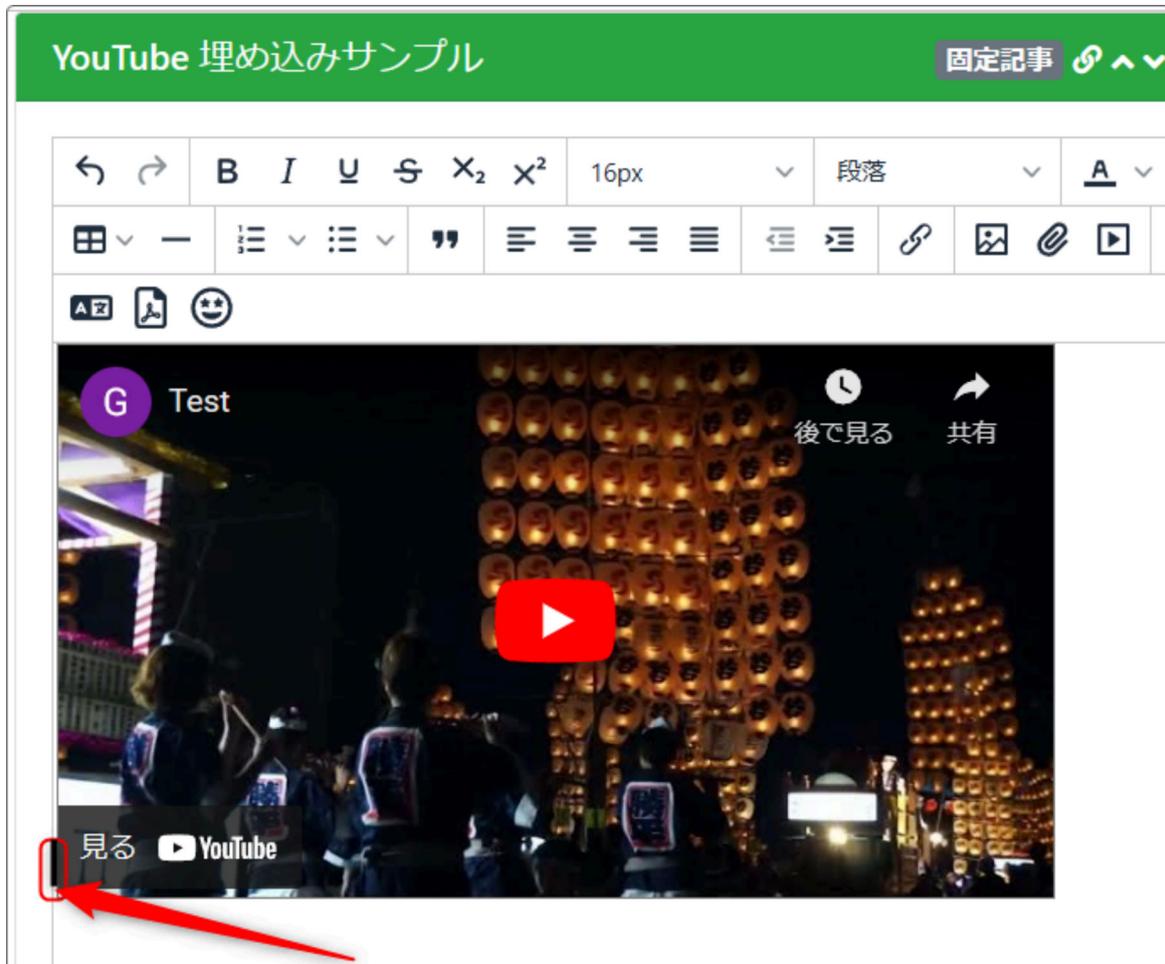
現在、カーソルは画面の動画の終わりに来ています。

カーソルがここに来ていない場合は、まずは動画の終わりにカーソルを移動します。

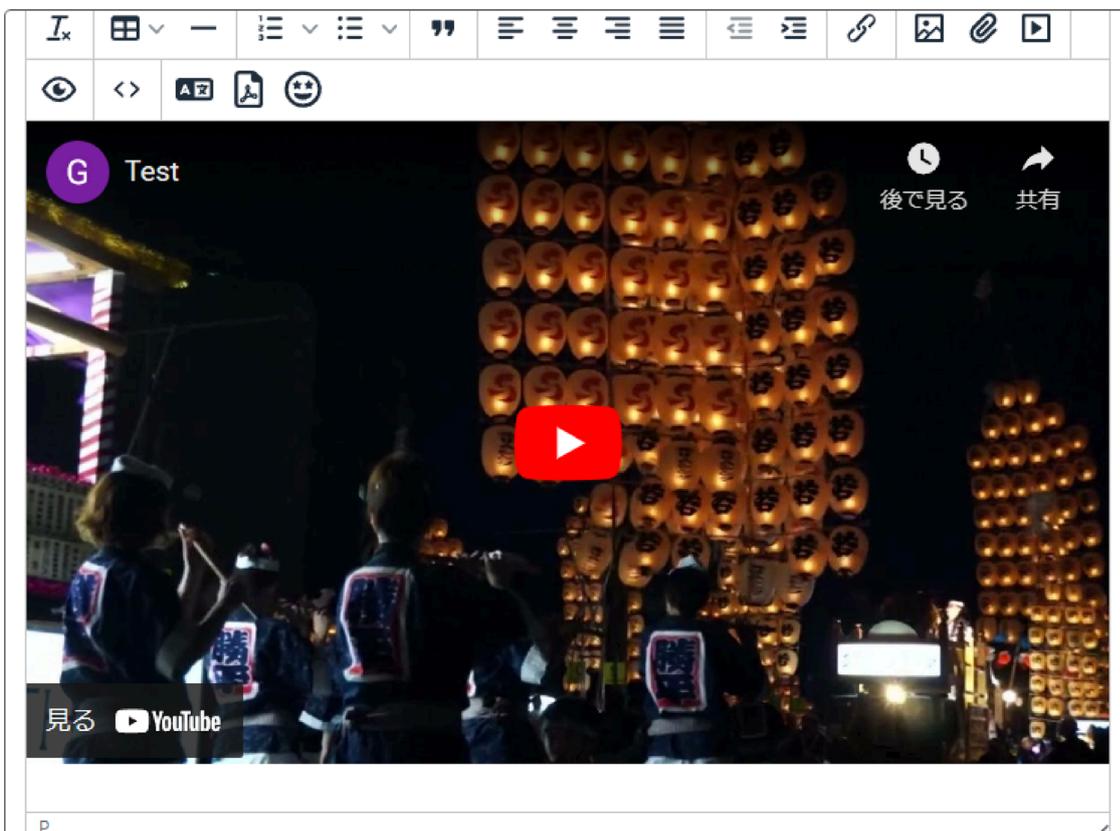
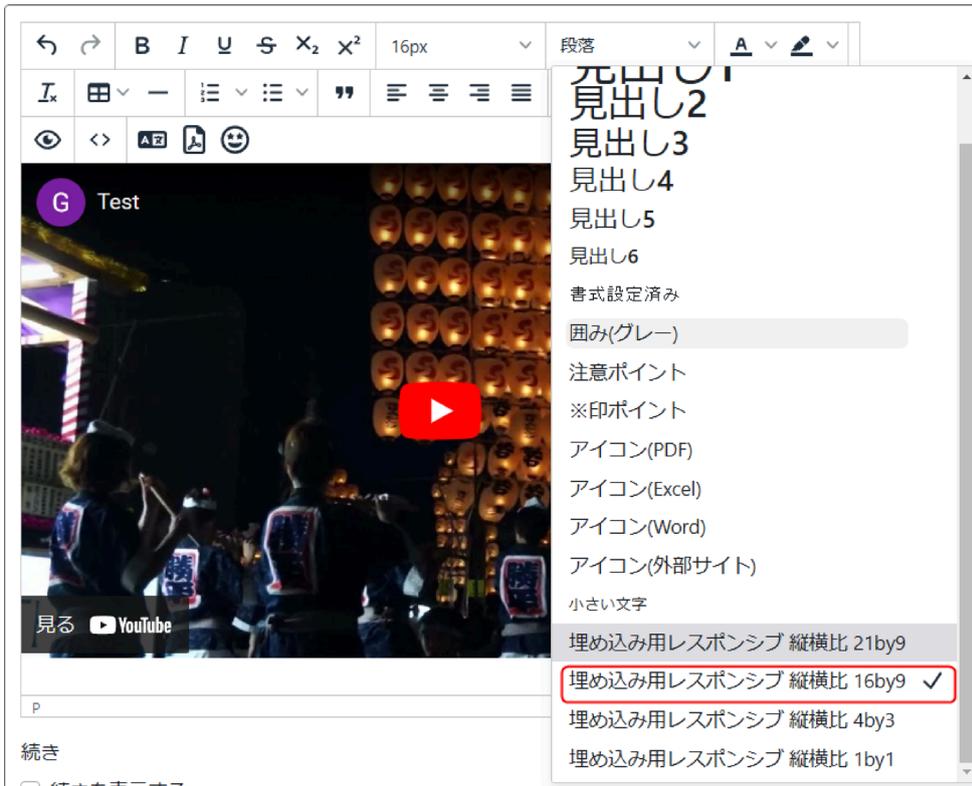


1. そのままの状態です左矢印キーを2回押下します。

※1回押下で動画を選択（画像の周囲が青い線で囲まれ、四隅にも青い■が表示されます）、2回押下で動画の前にカーソルが移動しているのを確認します。



2. カーソルが動画の前に移動したら、そのままメニューから段落→埋め込み用レスポンス 16by9 を選択します。



画像が枠一杯に表示されたら成功です。

うまくいかない場合は、[1. HTMLで動画を貼り付けたあと「段落」設定で変更する](#) から繰り返してみてください。

以上でレスポンス対応の動画の貼り付けは完了です。
フレーム枠いっぱいに表示されているので、スマホやタブレットにした際にもフレーム枠に合わせたサイズになります。
また、フレーム枠自体の大きさを変えても追従しますので、その際にも有効です。

